

活動報告書

団体名：NPO相模原こもれび

活動場所	木もれびの森活動地		記録者	白川 泰嗣
活動日時	令和5年 7月22日 (土) 8時00分～11時00分	天気	雲のち晴れ 30°C60%, WBGT 27.7(警戒)	
参加者	浅川、白川、浜田、平野、本田、目黒 (一)			計6名
活動内容	森づくりと保全活動			
使用道具	チェーンソー、電動ドリル			
機器操作者	刈払い機		チェーンソー	
	—		白川、平野、本田	
区域	①倉庫前広場、B地区 (コブシ広場)			
作業内容	① スウェーデントーチ作り			



コブシ広場をお借りして、作業をさせてもらった



分業して、次々とスウェーデントーチが出来上がる



加工は、ナラ枯れ材の玉切りから始まる



次回納入分の材料も確保できた

次回の予定：定例活動9:00～

7月26日 (水) イヌシデ広場集合

8月20日 (日) イヌシデ広場集合

8月23日 (水) イヌシデ広場集合

イベント：

9月16日 (土) 一日研修

☆ボランティア募集・経験不問☆

第1 土曜、2 土曜、3 日曜、4 水曜の中から好きな日の午前に参加可。活動日の朝9:00前に長袖で来て下さい。

報告事項・トピックス

●学校の夏休みが始まり多くの市民がコロナ禍で自粛していたレジャーを楽しむ中、上大島キャンプ場から近年人気となったスウェーデントーチの追加注文をいただいたので、作業チームで臨時作業を行った。

●ちょうど関東甲信地方でも梅雨明けが発表されたが安全には充分配慮し、防護服に身を包んで作業を行った。一方で熱中症の懸念が増すことから、適宜休憩を挟みつつ、会話を交え、一人作業になることが無きよう留意した。

●貴重な里山林の木々であるが、炭の需要が減り大径木化した広葉樹に体長4.5～5mmほどのカシノナガキクイムシが菌を媒介し立ち枯れしてしまったナラ枯れ被害木の利活用と、相模原での地産地消に貢献できている。以上

